

『国語総合』シラバス

科 目 名	学 科	学 年	必修 / 選択	単 位 数
国 語 総 合	全 学 科	1 年	必 修	3 単 位

1. 科目目標と使用教材

科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を的確に理解する能力と、表現する能力を養う。 ・国語を通して、伝え合う(コミュニケーション)力を高め、思考力を伸ばし、言語感覚を磨く。 ・古典の学習により、伝統文化に対する興味・関心・知識・理解を深める。 ・国語の基礎となる言語能力の向上を図り、漢字検定5級以上の合格を目指す。
使用教材	『新編国語総合』・『準拠学習課題集』・『高校漢字必携』(第一学習社) 高校国語への入門(浜島書店)

2. 学習計画

学期	学 習 項 目	学 習 目 標
1 学 期	高校国語への入門 [現代文・随想]新しい出会い 「一日ですっかり変わってしまうこともある」 [現代文・小説]小説を読む(一) 「散髪」	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの学習内容を復習し、高校国語へスムーズに入れるようにする。 ・作者が変わった2つの経験を読み取り、その内容を理解する。また、自分の考えやものの見方が変わった経験について考える。 ・登場人物の心理描写を読み取る。そこから、自分の自立や親子関係について考える。
2 学 期	[表現]表現の実践 「適切な言葉遣い」 [古文]古文入門 「名文暗誦」 「古文を読むために1・2」 「児のそら寝」 [現代文・小説]心の風景 「挑戦」	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語の種類や性質を理解する。目的や場に応じた話し方や言葉遣いを身につける。 ・名文暗誦することにより、古文に親しみ、素晴らしさを知る。 ・古文の基礎となる文法事項・仮名遣いを理解する。 ・ユーモアのある昔話を読むことにより、古文に親しむ。 ・登場人物の心理描写や生き方を読み取る。青春を生きることを、自分を振り返って考える。
3 学 期	1月下旬漢字検定 [漢文]入門 「漢文を読むために1・2」 「訓読に親しむ1・2」 「五十歩百歩」 [表現]表現の実践 「手紙の書き方」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定合格を目指し、分野別問題や過去問題など実践的な取り組みをする。 ・基礎である訓読法を理解し、格言にこめられた教訓を理解することで、漢文に親しむ。 ・故事成語をのもととなった話を読み、その意味を知る。 ・正式な手紙の書き方を理解し、実際に恩師に手紙を書いてみる。
備考	漢字検定5級以上の合格を目指し、「高校漢字必携」を授業・定期テストで使用します。	

3. 学習方法

授業は教科書の学習が中心となるので、まずしっかり読んでくるのが大切です。すらすらと読めるようになることを心がけてください。また「ことば」の学習ですから、語句の意味、漢字の読み書きなど基本的な学習を毎日地道に続けることが不可欠です。授業でも使用しますので、国語辞典を常備しておきましょう。ノートは必ず用意し、板書をきれいに書いて覚えたり、復習したりすることも大切な学習です。

4. 評価の観点

関心・意欲・態度	授業に真面目に積極的に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。 国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。
話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりできるか。
書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章が書けるか。
読む能力	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。
知識・理解	表現と理解に役立てるための音声、文法、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。

5. 成績評価

1・2学期	中間	中間考査評点 = 中間考査素点 (100%) 2学期の中間考査には夏休み課題の提出点を素点として加える。
	期末	期末考査評点 = $\frac{\text{中間考査素点} + \text{期末考査素点}}{2} \times 0.7 + \text{平常点} 30 \text{点}$
3学期	学年末	学年末考査評点 = $\frac{\text{1学期末評点} + \text{2学期末評点} + (\text{学年末考査素点} \times 0.7 + \text{平常点} 30 \text{点})}{3}$

平常点は、授業態度・忘れ物・課題の取り組み状況・ノート・文字力テスト・日々の漢字・課題テスト・漢字検定など総合的に評価する。また、課題テストや作文などを定期考査の素点として算入することもある。

6. 生徒の皆さんへ

「学問に王道なし」という名言があります。また、「ローマは一日にして成らず」とも言います。どの教科でも同じですが、一日や二日、一週間や二週間ですぐに実力が付くはずはありません。たったそれくらいの努力で自分には能力が無いなどと言うのは恥ずかしいことです。最低三ヶ月はかかります。一時間一時間の授業を大切にしてください。没頭してください。そのためには授業に臨む姿勢が大切です。意欲を持ってまじめに取り組むこと。忘れ物を絶対しないこと。課題や提出物は期限を守って必ず提出すること。読書をする事。文字力を向上させること。